



2023年9月1日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2023年秋季年末闘争 No.1

2022年度推進ニュース③②通算302号

発行責任者 小島 茂

建交労第25回定期大会(8/26~28)開催 2023年秋季年末闘争がスタートしました！

建交労中央本部は8月26日~28日に群馬県安中市内で第25回定期大会を開催し新年度の運動方針を確立しました。2020年からのコロナ禍によって過去3年間はオンライン併用などの変則的な開催を余儀なくされてきた全国大会でしたが、今大会は通常どおりの開催に踏み切り59名の活発な発言を得て成功しました(別掲:中央推進ニュース参照)。

神奈川県本部では、神奈川県南支部からの参加はありませんでしたが組織拡大運動での躍進著しいダンプ支部が代議員として参加し軽貨物労働者を中心とする運動前進をはじめダンプ労働者などにとって死活問題となっているインボイス制度の中止を求めるたたかいの強化などを呼びかける発言を行っています(8/29付しんぶん赤旗の記事参照)。

建交労は全国大会終了と同時に2024年春闘に向けた要求アンケート活動や年末一時金闘争の準備など2023年秋季年末闘争がスタートしました。

県本部委員会・大会&支部・分会・班大会を 成功させる取組を同時並行で推進しよう！

秋季年末闘争を成功させるために各級機関(県本部・支部・分会・班)は委員会・大会などの機関会議を同時並行で成功させます。

そのために各分会・班は県本部委員会・大会および神奈川県南支部大会への参加体制を確立して建交労への団結と結集を強めましょう。同時に各分会・班はそれぞれの大会を成功させるために日程などの準備を早期にすすめるようにしましょう。

さらには、分会・班での討論をすすめて神奈川県南支部の宣伝行動や平和を守り日本を戦争する国にしないための行動などにも積極的に参加するようにしましょう。

県本部委員会・大会&神奈川県南支部の大会日程その他の行動は以下のとおりです。

- ◎神奈川県本部委員会 9月24日(日)13:30~かながわ労働プラザ(石川町)
- ◎神奈川県本部大会 10月15日(日)13:00~かながわ県民センター(横浜西口)
- ◎神奈川県南支部大会 10月29日(日)13:30~川崎市教育文化会館
- JR川崎駅前宣伝 10月29日(日)10:00~県南支部事務所集合
- 原子力空母いらない!横須賀集会 10月1日(日)15:00~横須賀ヴェルニー公園

前回推進ニュース①①で、関東トラック協議会総会の会計監査報告を行った早船さんを写真でご紹介しましたが、掲載した写真は閉会あいさつを行った豊島運送の今成さんでした。早船さんと今成さんには大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ございませんでした。お詫びして訂正いたします。



建交労

2023年8月31日 No.1
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2023年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

4年ぶりに第25回定期大会を通常開催 全組合員参加で要求闘争を推進しよう!

8月26日(土)～28日(月)の日程で、建交労第25回定期大会を群馬県ホテル磯部ガーデンホテルにて、4年ぶりに通常形式で開催しました。主催者あいさつで角田季代子中央執行委員長は冒頭に、「岸田政権が24日に福島原発事故による放射能汚染水の海洋投棄を強行したことに断固抗議し、直ちに中止を求める」と糾弾。続いて、「昨年末、岸田内閣は安保3文書を改訂し、憲法9条を持つ



開会あいさつをおこなう角田委員長

国でありながら『日本を戦争できる国』へと突き進めようとしている。重大な岐路に立っている」、「ジェンダー平等の課題では、国際指数でランキング125位の後進国として君臨しているにもかかわらず、物価高騰の下で女性労働者の多くが不安定雇用・低賃金



新年度運動方針に団結して頑張ろうと決意

で苦しんでおり、政府は抜本的な対策をとっていない。」「建交労の組織を強くする課題では、原点回帰を呼びかけたい。仲間が集まり、みんなで相談し、行動することが大切。憲法を守り、仲間たちの生活改善に向けて、運動方針に団結し、1年間ともに奮闘しよう」と参加者へ呼びかけました。

初日は廣瀬書記長が2023年度運動方針等の提案し、1日目3人(特別報告)、2日目56人「計59人」が発言。(文書発言1人)

討論の特徴は「春闘など経済闘争の推進、組織拡大、職場争議、改憲阻止・大軍拡反対、反核平和活動の推進、原発なくせ」など、各県本部・支部、業種部会や女性部・青年部の仲間たちが元気に語りました。また長期期間のコロナ禍を経て、組合員の結集、学習・教育の強化など各職場、地域のとりくみを交流しました。最終日は、運動方針・財政方針案等を採択し、スト権を確立しました。また、「組織拡大、機関紙コンクール、フォトコンテスト」の表彰をおこないました。最後に角田委員長の発声で団結がんばろうを三唱し、大会を終えました。(※定期大会の詳細は建交労雑誌版10月号に掲載)



軍事費けずって、国民生活をまもろう！

原子力空母いらない！横須賀集會

憲法改悪許すな！オスプレイNO、爆音なくせ！原発ゼロ！戦争法廃止・市民と野党の共同で政治を変えよう！

10月1日(日)午後3時開會 横須賀市・ヴェルニー公園



【原子炉2基を積む空母＝東京湾に浮かぶ原発】

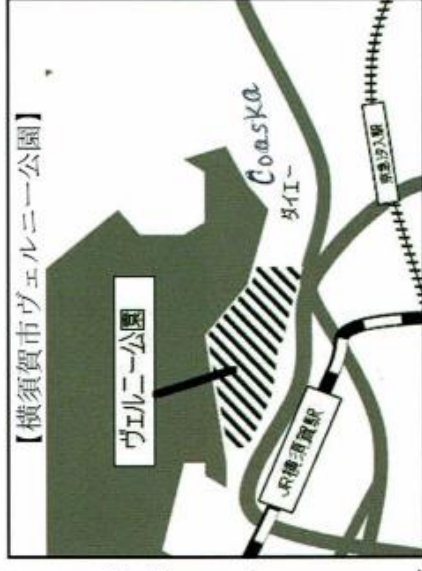
在日米海軍横須賀基地は1973年10月に米空母ミッドウェーの「母港」とされ、2008年に原子力空母ジョージ・ワシントンの配備。2015年10月1日、原子力空母ロナルド・レーガンの交代配備。横須賀はベトナム戦争など米国の侵略と干渉の出撃拠点とされてきました。今年で50年、半世紀となります。さらに、来年24年後半には、現在の空母レーガンに代わって、新たに装備を強化した最新鋭艦となった空母ジョージ・ワシントンと再び横須賀に配備しようとしています。米国は横須賀を遠い将来まで母港とし、永久母港化を狙っています。これに日本政府は追従しています。米本国以外で米空母の母港としているのは、世界中で日本だけであり、横須賀だけです。

憲法の「専守防衛」を突き崩し戦争につながる「反撃能力」(敵基地攻撃能力)の保有。「5年で43兆円」という大軍拡。大軍拡のために国民への大増税と福祉切り捨て。これを岸田内閣は強行しようとしています。

日本の法律で規制できない原子炉をもつ米原子力空母とその「母港」横須賀。事故が起これば首都圏3000万人の命と暮らしを直撃する事態になりかねません。

「空母はいらない」「軍備拡大をやめ、国民の暮らしを守れ」の世論と行動を大きくしましょう。

※集会后にデモ行進(出発予定4時)を行います。



【横須賀市ヴェルニー公園】